

## はじめに

士業、つまり国家資格や公的資格を持ち、それぞれの専門分野を駆使し、企業や個人の抱える問題を解決することで生計を立てている人々の多くが苦しんでいます。皆さまも弁護士や会計士といった最難関の国家資格者でさえ、仕事にありつくなことができないというニュースを聞いたことがあるかと思えます。

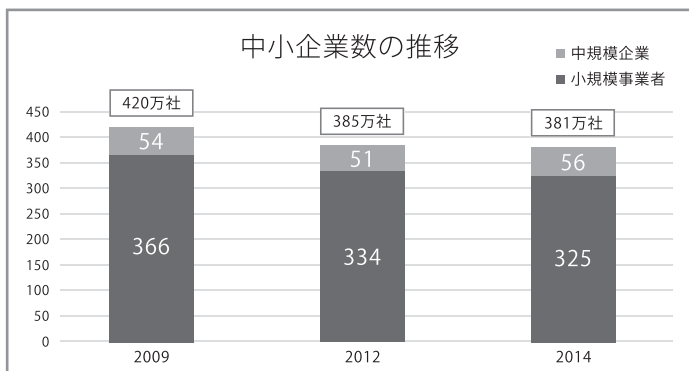
「士業が稼げる時代は終わった」

「苦勞して国家資格を取得してもカネにならない」

「独立開業しても3年は食えない」

「弁護士や税理士のような独占業務でも稼げない」……

そんな話をよく耳にします。なぜこのような事態になっているのでしょうか。長引く不況により法人の数は減少の一途をたどり、士業が行うべき案件そのものも少なくなっています。それに加え、終身雇用の崩壊、将来の漠然とした不安から手に職を付けたいと国家資格を取得する人が増えたことが需要と供給のバランスを大きく崩してしまったと推測されます。



2016年版「中小企業白書概要」より引用・改変

また、インターネットの発達により、サービス内容や価格がオープンになったことで価格競争が激しくなったことも士業が苦しむ結果となった要因の一つでしょう。仕事を取りたいという思いが先行し、必要以上に低価格をうたっている士業の方はたくさんいらっしゃいます。

このように供給が需要を上回り、価格競争まで始まってしまったのですから、従来のやり方が通用しないのは当然のことかもしれません。その意味では「士業が稼げる時代は終わった」という話は間違っていないと言えるでしょう。

一方で、士業として立派に稼いでいる先生方も大勢いらっしゃいます。私も弁護士、社労士、税理士、中小企業診断士などあらゆる士業の方とお付き合いがありますが、どの方もしっかりと事業を軌道に乗せています。大阪市内や東京都心

部の一等地に事務所を構え、身なりを整え、多くのクライアントを抱えてバリバリ仕事をされています。

かくいう私もそのような一流の方と同じレベルではないのですが、それでも周りには「成功してうらやましい」と言われることがあります。

私は2009年10月に経営コンサルタントとして独立開業しました。2013年4月に国家資格である中小企業診断士に登録し、まさしく士業として仕事をしています。顧問契約を結ばせて頂いている多くのお客さまの案件に加え、スポット的に発生する案件、執筆活動、セミナー講師などをこなしながら請求書の発行、試算表の作成、確定申告といった経理業務、メールの返信、ホームページの更新、ニュースレターの発行、読書などの仕事に追われています。

私は国家資格を取得して独立開業すれば「食える」「食えない」の話どころか、素晴らしい世界が広がっていることを知っています。もし、あなたが今の人生に満足していない、あるいは多くの問題を抱えているなら、士業として独立することが大きな助けになるでしょう。そして、独立して数年経過すればお客さまや家族から感謝され、経済的にも精神的にも豊かな生活を送ることが可能です。経済的なことと言えば、大きな家や外車を購入する事も可能ですし、家族や友人と頻繁に旅行に行くことも可能です。

精神的にも、自分が経営者となりますので仕事での対人ス

トレスもほとんどなく、仕事のやりがい、生きがいを得ることが出来ます。国家資格試験の合格までに費やした時間、お金、労力そして独立するというリスクはものの数ヵ月で回収出来ます。

国家資格者は難関試験をくぐり抜けた選ばれし者です。「食える」だけでは駄目です。社会的にも高い地位を維持し、それに恥じないステータスと教養を身に付けなければなりません。

ですが、その地位が失墜してきているのです。本当に嘆かわしいことです。私はその地位を少しでも回復させたいと思い、独立しようか悩んでいる方、国家資格を取得し士業として独立しようとしている方を応援するという意味で、自分自身が実践した、あるいは経験した心構えや行動パターンをご紹介したいと思います。士業の社会的地位のあるべきポジションに戻すには、一人でも多く独立士業が活躍しなければなりません。

この本は士業のビジネスモデル、ならびに独立から軌道に乗せるまでの考え方や手法を自分の体験に基づいて可能な限り分かり易くお伝えすることを心掛けて書いたものです。具体的な手法も多少は掲載していますが、どちらかというと成功するためのマインドセット（思考様式）に重点を置きました。メディアに取り上げられるような大きな成功ではありませんが、私のような小さな成功だからこそ親近感を抱いたり、

自分でもできるのではと感じていただけると幸いです。

士業として独立したいと考えている方のお役に、少しでも立てれば幸いです。

2018年4月

株式会社フラッグシップ経営 代表取締役

中小企業診断士 長尾 康行